古繊維問屋を営み業界初の固定相場制を実現

古着・古布類を取り扱う古繊維問屋を組合で運営することにより、流通量が安定し、固定相場での取引が可能となった。古着・古布の販売価格の安定が組合及び組合員企業の経営の安定化をもたらす。



▲補助金で購入した台貫（写真左）／事務所内。回収した着物の帯を使用（写真右）

組合で古繊維問屋を運営するきっかけ

当組合は横須賀市と協定を結び、横須賀市内全域で資源物の回収業務を行っています。今までは回収した資源物を各自で古紙問屋に売っていました。この方法だと資源物の絶対量が少ないため、価格交渉がほとんどできません。また近年はペーパーレス化が進み、昔よりも資源物（特に古紙）の回収量が減少しています。この非常に厳しい状況下で組合員の収入を安定させる方法はないかと考えたとき、組合で問屋を運営することに思い至りました。組合が主体となって取引すれば、資源のボリュームを確保できますから、価格も安定すると考えました。

古繊維問屋を開設するにあたり問題となったのは、回収した古着・古布を集める施設の確保です。そこで、今回のものづくり補助金の応募に至りました。中小企業団体中央会さんとは組合運営のことでお付き合いがありましたし、認定支援機関の金融機関のサポートもあり、書類作成はそれほど苦労しなかったですね。それと、書類を作成した優秀な事務員の存在が大きかったです。

固定相場制の実現と雇用拡大

今回の補助金で購入したのは、台貫（トラックスケール）です。回収した資源物の重さを計測するために使用します。土地・建物・フォークリフトなどは、自前で購入しました。

古繊維問屋を開業したことにより、当組合の従業員は14名（申請時7名）になりました。このうち60歳以上の高齢者が6名おります。主に久里浜に新設された営業所で荷の収集・搬出作業を行っています。最近の高齢者は、元気ですからね（笑）

問屋を運営し、古着・古布の安定した供給量を確保できたおかげで、固定相場として10年契約を締結することができました。これにより組合員の収入が安定し、更なる雇用の拡大が期待できます。業界初の固定相場制を実現できたのは、横須賀市ならではの強みのおかげでもあります。横須賀市は平成24年度の資源回収実績において、人口20万人以上の都市の中で全国1位なんです。この資源回収量の多さも固定相場制実現につながったと思います。

今後も資源回収業務を通じて市民・業者・行政が一体となった横須賀市の地域振興を目指しています。超高齢化社会を迎えるにあたり、地域の高齢者の雇用機会を創出できるようにしていきたいです。

「ヨコスカブランド」の確立へ

各組合員が回収した古着・古布は一度久里浜に新設した営業所に集められ、そこから国内の商社へ搬出し、最終的には輸出されます。輸出された古着・古布は、そのまま東南アジア・アフリカ市民の衣類として活用されます。横須賀市で回収された古着・古布は、品質がいいんですよ。だから、余計な手を加えずとも着こなすことができる。

ただ、回収された古着・古布のすべてが高品質ではありません。そこで今後は、高品質の古着・古布を選別して「ヨコスカブランド」にしたいと考えています。今は輸出が不況なので実現していませんが、5年後にはブランドを立ち上げたいです。ブランド化ができれば選別作業が発生しますから、更に多くの雇用拡大が実現できます。

現状の課題としては、高品質な古着・古布の回収量にあります。衣類は使っていた人の思い入れが強い傾向があります。市民からは「誰が使うかわからない」「使う人まで知りたい」という声も寄せられており、流通過程の「見える化」が必要です。そこで、ブランド立ち上げ後には、産業廃棄物処理で利用されているマニュフェスト制度を試験的に導入し、古着初のトレーサビリティ制の導入を検討しています。

資源回収事業は、資源回収についての市民の理解・協力が必須です。今後も行政と連携し、横須賀市の地域発展に貢献していきたいです。


▲藤田 和秀理事長


▲従業員の皆さん。笑顔の絶えない職場

Company Profile 企業概要


▲久里浜事業所 外観

平成5年に横須賀市全域で資源回収を業としている業者すべての集合体として設立された横須賀市資源回収協同組合。行政（横須賀市）と協定を結び、市内全域の家庭から排出される資源物の回収業務を行っている。資源回収事業を通じ行政との信頼関係を構築することにより、互いに協力して集団資源回収実施団体との懇談会や小・中学校での課外事業、年間50回に及ぶ講演活動（出前トーク）を行い、市民・業者・行政が三者一体となり、ごみの減量・資源のリサイクルに積極的に取り組んでいる。

代表者名	藤田 和秀
設立年月日	平成5年4月
所在地	〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町21番地8 エリカオリエントマンション302
従業員数	14名
出資金	7,560万円
Tel.	046-821-3811
Fax.	046-821-3812
http://www.yokosuka-shigen.com/	

Examiner's Eye 調査員考察

補助金を活用し、組合で問屋を運営する革新的システムを作り上げ、固定相場による収入の安定が、雇用拡大をもたらした。この成果の背景には行政と連携し、年間50回にも及ぶ講演活動などで市民に深く浸透したリサイクル意識の高さがある。地域に根付き、地域発展に貢献することで、他では真似できない強みを形成することができたと考えられる。